

一般廃棄物処理施設の維持管理に関する情報の公表について

(平成30年度 甘楽西部環境衛生施設組合 清掃センター)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第4条の5の2に基づき、一般廃棄物の焼却施設である清掃センターの維持管理に関する情報を公表いたします。

1. 処分した一般廃棄物(可燃ごみ)の量 (規則 第4条の5の2第1項第1号 イ 関係)

区 分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
焼却量	1号炉	t	99.7	107	104	102.7	119.4	100.7	22.4	104	107	102.8	92.4	85.5	845
	2号炉	t	98.7	107	102	100.6	118.7	99.4	189.7	104	103	100.9	89.3	81	833
合計焼却量	t	198.4	214	206	203.3	238.1	200.1	212.1	208	210	203.7	181.7	166.5	2,442	

2. 燃焼室中の燃焼ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度(月平均値) (規則 第4条の5第1項第2号 ト、リ、ヲ 関係)

区 分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
燃焼室中の燃焼ガス温度	1号炉	℃	855	890	893	881	901	894	896	900	901	901	901	894	892
	2号炉	℃	855	890	893	882	903	895	902	899	902	901	896	890	892
集じん器に流入する燃焼ガス温度	1号炉	℃	183	183	183	182	183	182	181	181	182	182	181	181	182
	2号炉	℃	183	183	183	182	183	182	181	181	182	182	181	181	182
排ガス中の一酸化炭素濃度	1号炉	ppm	26.8	26.8	27.0	26.5	26.6	26.6	28.6	30.8	30.0	29.8	30.5	28.9	28.2
	2号炉	ppm	26.8	26.8	27.0	26.5	26.6	26.6	28.6	30.8	30.0	29.8	30.5	28.9	28.2
備 考		連続測定													

3. 冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った日(規則 第4条の5の2第1項第2号 ヌ 関係)

区 分	1 号 炉	2 号 炉
冷 却 設 備 (急 冷 塔)	平成30年4月16日	平成30年4月16日
	平成31年3月19日	平成31年3月19日
	平成 年 月 日	平成 年 月 日
排ガス処理設備(バグフィルター)	平成30年12月17日	平成30年12月17日

4. ばい煙又はばい煙濃度測定結果 (規則 第4条の5第1項第2号 カ 関係)

区 分	排出基準	単位	1 号 炉		2 号 炉	
			1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスを採取した年月日			平成30年7月19日	平成 年 月 日	平成30年7月26日	平成 年 月 日
結果が得られた年月日			平成30年7月27日	平成 年 月 日	平成30年8月7日	平成 年 月 日
硫酸酸化物濃度(※排出基準)	K値17.5で測定される排出基準	K値	0.01		0.016	
ばいじん濃度	0.25	g/m3	0.005		0.002未満	
窒素酸化物濃度	250	ppm	52		53	
塩化水素濃度	700	mg/m3	6.0		8.0	

5. 排ガスのダイオキシン類濃度測定結果 (規則 第4条の5第1項第2号 カ 関係)

区 分	排出基準	単位	1 号 炉	2 号 炉
排ガスを採取した年月日			平成30年7月19日	平成30年7月26日
結果が得られた年月日			平成30年8月6日	平成30年9月10日
排ガス中のダイオキシン類濃度	5.0	ng-TEQ/m3N	0.800	0.810

【検査項目】

ばいじん濃度：物が燃焼するときに発生するものうち、すす、完全に燃焼した灰分、燃焼ならびに熱分解による固形粒子。

塩化水素濃度：塩化ビニール樹脂等の燃焼の際に発生する、刺激臭を有する無色の気体。

窒素酸化物濃度：石油、ガス等燃料の燃焼に伴って発生する。

硫酸酸化物濃度：石油や石炭を燃やすとそれらに含まれている硫黄分が酸素と結合して発生する。

ダイオキシン類：塩素、酸素、炭素、水素の存在するところで、物が燃焼するときに発生する有機化合物。